

Tsuruoka Rotary Club

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 22 年 11 月 9 日 (火) 第 2520 回 (本年度第17回) 例会

1959 年 6 月 9 日創立 ● 例会場：東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町 2-10 ● 例会日：毎週火曜日 (12:30~13:30)

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

本日(11/16)のメインプログラム

ガバナー公式訪問例会
地区ガバナー 塚原 初男 君

次週(11/30)のメインプログラム

夜 例 会 (11/23 は休会)
インフォーマルミーティング

会長挨拶 佐藤 孝子 そば打ち家族例会によろこそ！

皆さん今晚は！！

秋新そばの美味しい季節になりました。恒例の蕎麦打ち家族例会に大勢の皆様に参加して頂き有り難うございました。

今日のスペシャルゲストを御紹介致します。元米山奨学生、新モンゴル高等学校校長のジャンジブさん、よろこそ鶴岡へお越し下さいました。先程蕎麦打ちも御一緒させて頂きました。如何でしたか？

後ほど今年度の WCS の事業として日本の書籍の準備の為に 30 万円を贈呈させて頂きます。今回藤川 PG のご尽力に本当に感謝致します。心よりお礼申し上げます。

会員のご家族の方を御紹介させて頂きます。加藤恒介さんの奥様節子さん、真島吉也さんの奥様靖子さん、越智茂昭さんの奥様一江さん、佐々木喆彦さんの奥様十代子さん、塚原初男ガバナーの奥様玲子さんそして幹事の青柳孝治さんの奥様芳さん以上 6 名の皆さんようこそ。木村さんと吉野さんは同級生のご不幸があり残念ですが欠席のご連絡がありました。斉藤昭さんも急に体調が悪く欠席、総勢 30 名の皆さんのご参加有り難うございました。

甚内さんの美味しいお料理とお蕎麦どうぞ堪能頂き、皆さんと楽しい時を過ごして頂けたらと思っています。簡単ですが会長挨拶とさせて頂きます。



「人材育成へのご支援に感謝」

新モンゴル高等学校 校長 ジャンジブ 氏

皆さんこんばんは。このように皆さんから迎えていただき大変ありがとうございました。我が高校に大きなご支援をしていただいたことに心から感謝を申し上げます。

私が初めて日本に来たのは山形です。山形は私にとって第 2 のふるさとです。山形大学留学中、私は私費留学生でした。四人の娘と妻と六人で暮らしていました。一年間は奨学金なしで過ごしました。大学院二年生の時、山形北 RC から米山奨学金をいただくことができました。その頃、私には学校をつくるという夢がありました。「国創りは人創り、人創りは学校」ということで元々私がモンゴルで教師をしていた時に、私は日本の教育に興味を持ちながらいろいろ見ていたところ、長女が入学していた山形西高は素晴らしい学校だと思いました。この学校をモデルにして学校をつくりたい、という夢を持っていました。

私が山形大学卒業後、東北大学大学院博士課程に入りました。その時に留学中でも学校をつくったと山形北 RC が中心となり「柱一本の会」という一般の人が入る会を作り、



出席報告	会員数	39 名
	出席	23 名
	出席率	63.89%
	前々回確定出席率	81.08%

RI 会長 レイ・クリンギンスミス 地区ガバナー 塚原初男

● 会長/佐藤孝子 ● 幹事/青柳孝治 ● 会長エレクト/青柳孝治
● 副会長/阿部純次 ● 会報委員会/樋渡美智子・嶺岸禮三

事務局: 鶴岡市馬場町 11-63 鶴岡産業会館 3 階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

私の背中を押してくれました。そのおかげで学校が2000年に誕生しました。モンゴルにある日本式高校「新モンゴル高等学校」です。モンゴルの国をずっと新しくしていける学校にしたいと思いこの名前をつけました。

それから学校をつくったら大変で、私が経営者になり、全てのことが押し寄せてきて、いまでも博士論文を完成させていません。東北大学からの10年はとにかく前に前にと夢中で走っていました。

多くの人の気持ちが入ってみんなで創り上げた学校ですから責任は重大です。学校を良くしようとこの10年間頑張ってきました。7月に10周年式典、仙台で行ない、「柱一本の会」のみなさんを招待して、ロータリーのみなさんにも来もらって、お礼を申しあげました。10月、学校の誕生した日に高橋さん、藤川さん始めたくさんの方が日本からいらっしゃいました。私はこの学校をつくって、国のために卒業生は日本に留学させたいと思っています。最初の一期生6人が日本に留学してその後、どんどん留学する卒業生が増えました。学校ができてから7年間で150名が日本の大学に留学しております。東大に4人、一橋大学、横浜国立大学、千葉大学、信州大学、山形大学に2人、東北大学4人など計150名が日本にいます。多くの学生が高等専門学校、高専に在学しています。私はこれからモンゴルという国創りには法学の専門家がとても大事だと思い、力を入れています。私もその学生達もちゃんと勉強してこれから新しいモンゴル国と一緒に創りましょう。そして日本とモンゴルの間に生きている架け橋を創りましょう。21世紀の日本とモンゴルがとても仲良くしていかなければならない。モンゴル国も最大の友好国は日本だとみています。ロシアと中国の間にある国なので一番助けてもらう。これからお互いに助け合っていく国は日本ですと認めています。このようにたくさんの人を留学させれば、彼らが戻ってきて両国の結びつきが強まります。、今一番必要なのは、学ぶ教材です。まだまだ学校では不足しております。教科書は、西高から貰ったり、翻訳しながら使っていましたが、今回藤川さんたちが見て図書が少し足りないといっていました。今回ご寄付を頂きましたので学校の図書をよくしていきたいと思っています。勉学だけではなく人間性も優秀な人を育成していきたいと思っています。みなさん今後もどうぞよろしくお願いいたします。

感謝の気持ちとしてモンゴルの絨毯を持って来ました。野生のヤギで、素晴らしい物です。またモンゴルのおいしい酒を持ってきました。シンギスハンというウォッカです。40度あります。モンゴルで一番人気のウォッカです。



モンゴル外務大臣より地区に感謝状

感謝状

国際ロータリー第2800地区ガバナー

ミスター 初男 塚原 殿

皆様のご支援のおかげで、国際基準にあった日本式の新モンゴル高等学校、2000年10月に開校されたこと、モンゴルの教育歴史に新しいページを開いたと私達は認めています。当校はこの10年間、人材育成を継続的行なってきました。卒業生のうち150名が日本の大学で学び、モンゴル国の将来を担う優秀な人材を育成されていることに敬意を表しますとともにモンゴル国の教育の発展に皆様がこのように後押ししてくれたこと、ロータリーの皆さんの人を愛する心をモンゴル国王やモンゴル国民は高く評価しこの感謝状をお送りいたします。

良いことがこの世の中に広がっていきますように。

2010年7月28日

モンゴル国外務大臣ザンダンシャタル



○御礼の言葉

国際ロータリー第2800地区ガバナー 塚原 初男

ジャンジブさんありがとうございます。ジャンジブさんのお志しの高さ、ただいまも拝聴して改めてその高さに感動させていただきましたし、支援させていただいたことを大変うれしく思います。同時に地区といたしましては東根工業高校もWCSの一貫としてジャンジブさんの新モンゴル高校への光プロジェクトを実践しています。ジャンジブさんの高等学校がますます繁栄されますこと心から祈念いたします。ありがとうございました。

委員会報告

★出席委員会

○ゲスト

新モンゴル高等学校校長 ジャンジブ氏

青柳 芳様 加藤節子様 真島靖子様 越智一江様
塚原玲子様 佐々木十代子様

○メイクアップされた方

青柳 孝治 越智 茂昭 佐藤 友行 塚原 初男
丸山 隆志 佐藤 孝子 富樫 松夫 菅原 亨
田中 豊 加藤 亨 樋渡美智子